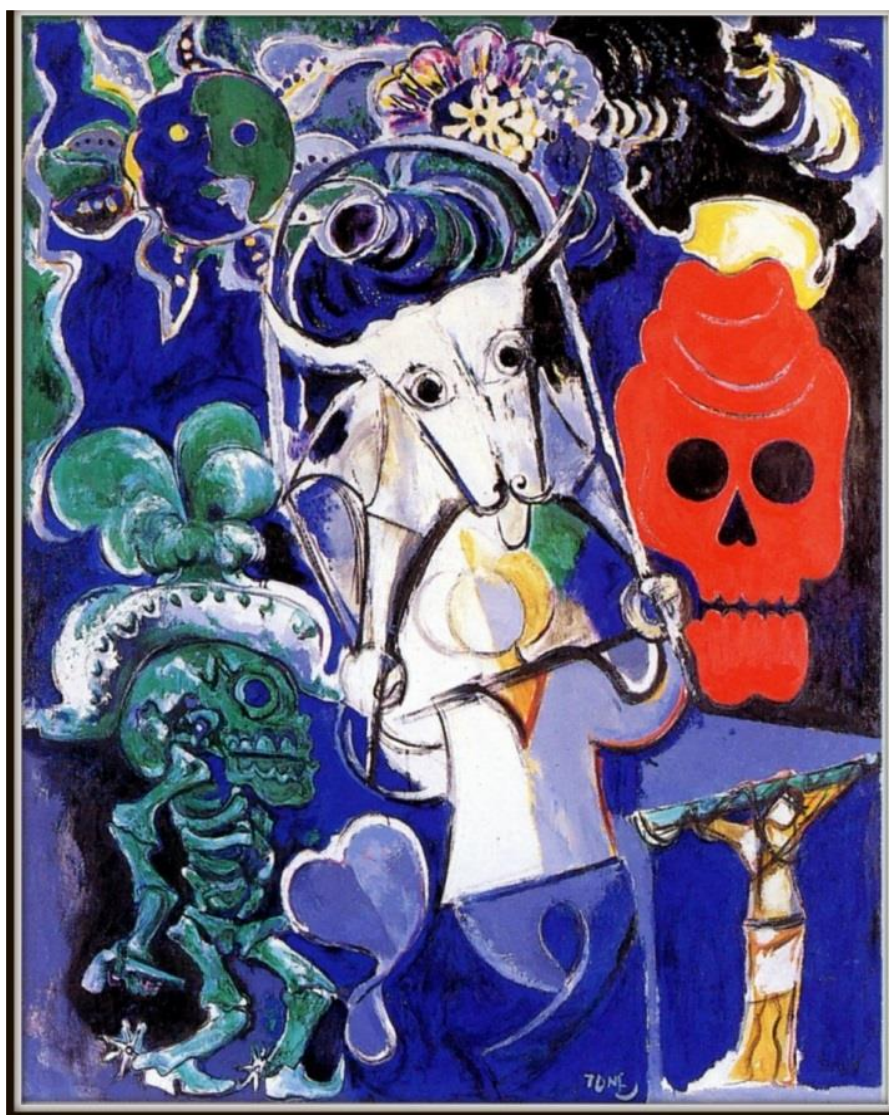


利根山光人

—メキシコに魅せられた太陽の画家—

VIVA MEXICO



VIVA MEXICO
エイゼンシュタインに捧ぐ
1980年 油彩
160.5 × 129.0 cm

令和4年3月7日(月)～8月31日(水)

午前9時～午後5時 (休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日)

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては一般公開を休止する場合があります。

聖徳大学川並弘昭記念図書館のホームページ(<https://www.seitoku.jp/lib/>)でご確認ください。

聖徳大学8号館1階 利根山光人記念ギャラリー

JR常磐線、新京成線松戸駅下車、東口より徒歩5分 (車での来場はご遠慮ください。)

利根山 光人(とねやま こうじん)

1921年－1994年

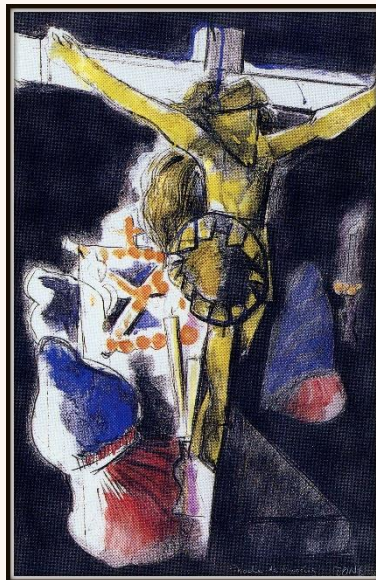
1921年、茨城県結城市生まれ。1943年、早稲田大学高等師範部国語漢文科卒業。1951年、第3回読売アンデパンダン展で本格的に画壇にデビュー。1955年に東京で開催されたメキシコ美術展に感動し、1959年以降しばしばメキシコを訪問。特に古代マヤ文明に大きな啓示を受け、古代文様に現代のイメージを重ねる独特の作風を鮮烈な色彩のうちに展開した。1960年、聖徳学園高等保育学校(現 聖徳大学幼児教育専門学校)の講師に着任。その後34年間にわたり、聖徳学園短期大学(現 聖徳大学短期大学部)、聖徳大学で教鞭をとられた。短期大学新校舎建築に際しては、設計や色彩計画等の企画に参画し、芸術的な教育環境づくりを目指した。その結果、学園内に魅力あふれる壁画がいたるところに設置され、「聖徳学園は壁画の園(その)」と称されるまでになった。

1981年、川並香順記念講堂の緞帳(どんちょう)により第6回吉田五十八賞を受賞。1985年、第17回日本芸術大賞を受賞。メキシコとの文化交流にも力を注ぎ、1986年にメキシコにおける最高文化勲章であるアギラ・アステカ・ブラーカ章を受章。さらに、1994年には勲四等瑞宝章を受章された。



鷲

1960年 油彩
116.0×90.0 cm



精霊の夜

1971年 素描
98.0×64.0 cm



ユーラ族の祭り

1975年 油彩
115.0×90.0 cm



トリト(闘牛踊り)

1972年 油彩
60.0×49.0 cm



古代幻想

1976年 油彩
90.0×115.0 cm